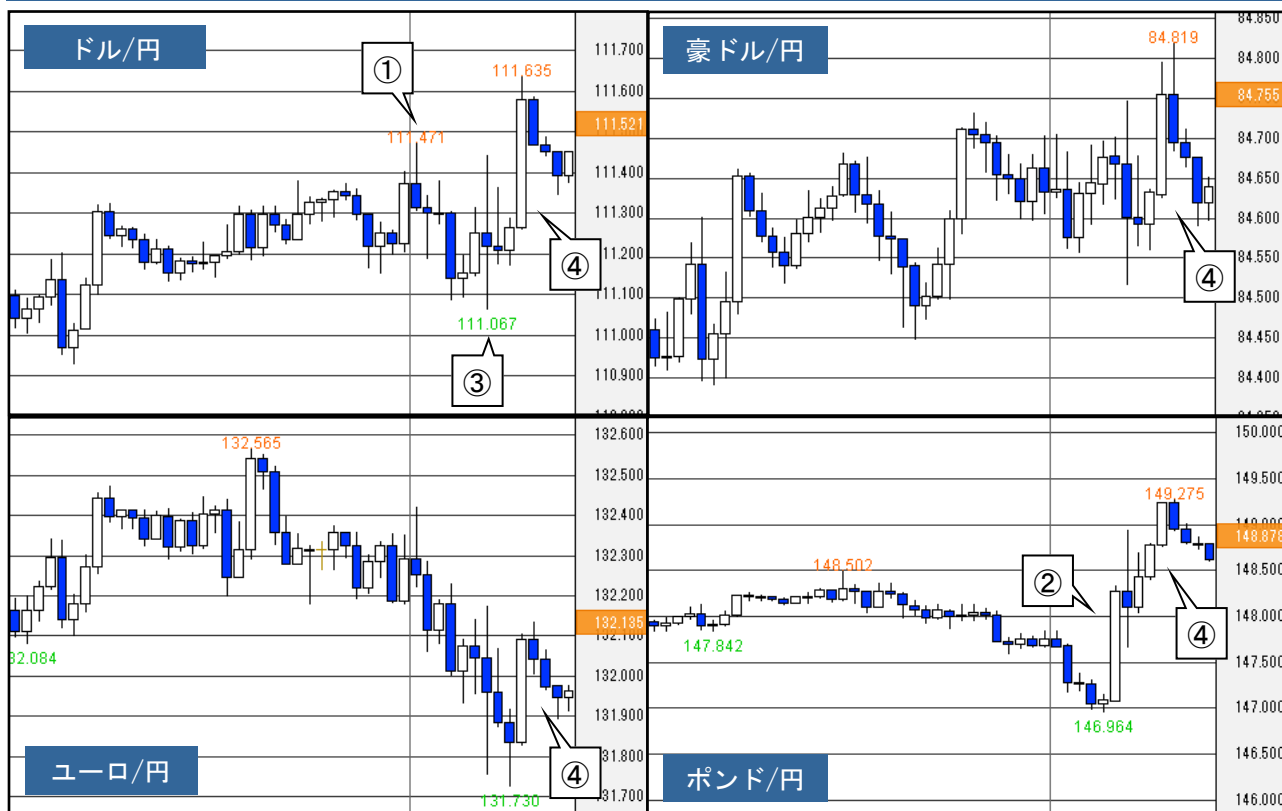


主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

11月29日(水曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## ドル/円、ひとまず底打ちか

### 28日(火)の為替相場



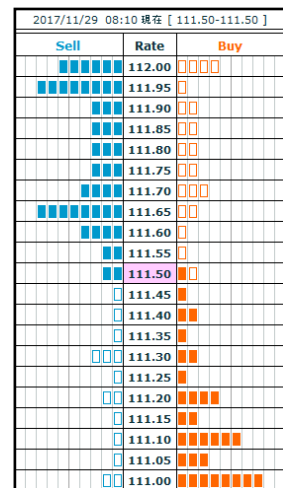
期間：28日(火)午前7時10分～29日(水)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 米11月消費者信頼感指数が市場予想(124.0)を上回る129.5となり、2000年11月以来の高水準を記録。これを受けてドルがやや買われた。その後、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル次期議長が、上院での指名公聴会で証言。「バランスシート調整には3-4年かかる」「賃金は労働市場のひっ迫を示唆していない」「景気に過熱感はない」「FRBは金利を正常化するとき」「12月利上げの論拠は強まっている」「強い成長が段階的な利上げを正当化する」「インフレの弱さが一時的かどうか注意深く見ている」「インフレ基調が弱いと判断すれば、利上げはより緩やかになる」と述べた。
- ② 英政府がEU離脱(ブレグジット)に伴い支払う清算金を巡り大筋合意したと報じられるとポンドが急進。なお、報道によると、最終的な清算金の規模は解釈の余地を残しつつ、450億-550億ユーロになる見通しとの事。ただその後、英政府高官は、この様な交渉は「認識していない」と述べた。
- ③ 「北朝鮮が弾道ミサイルを発射」と報じられると円買いに傾く場面もあったが、事前に発射準備の動きがキャッチされていた(数日中に発射の可能性が報じられていた)事もあって反応は一時的かつ限定的だった。
- ④ 米議会上院予算委員会が共和党の税制改革法案を承認。これを受けて30日にも上院本会議で採決にかけられる見通しとなった。この報道をきっかけに米国株が上げ幅を拡大し、米長期金利も一時上昇に転じた。こうした中、ドル/円やクロス円は買いが優勢となった。

28日(火)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22486.24 ▼9.75	5984.252 ▼4.521	3333.657 △11.427	7460.65 △76.75	13059.53 △59.33
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
23836.71 △255.93	0.0400% ▼0.0030	2.494% ▼0.030	1.253% ±0.000	0.339% ▼0.003
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.7460% △0.0056	2.3277% ±0.0000	57.99 ▼0.12	1299.20 △0.30	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.800-112.100	131.400-133.000	84.100-85.200	148.200-149.900

【ドル/円】

昨日のドル円は111円割れから小反発。東京市場では110.90円台に弱含む場面もあったが、NY市場に入ると米経済指標の好結果や米税制改革の協議進展を受けて111.60円台まで上昇した。日本時間午前3時過ぎに北朝鮮がミサイルを発射したと報じられたが、円買いの反応は一時的かつ限定的だった。ドル/円相場は110円台後半でひとまず底を打ったようにも見える。ただし、昨日も200日移動平均線付近で頭を押さえられるなど、上値の重さを払拭できていない。本日も、上昇基調への足がかりとなる200日移動平均線(執筆時111.686円)を回復できるかが焦点のひとつだろう。材料面では、米7-9月期GDP改定値、イエレン米FRB議長の議会証言などが注目される。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
11/29(水)	16:00		(日) 中曽日銀副総裁、講演	—	—
	19:00		(ユーロ圏) コンスタンシオECB副総裁、講演	—	—
	22:00	◎	(独) 11月消費者物価指数・速報値(前年比)	+1.6%	+1.7%
	22:30	◎	(米) 7-9月期GDP・改定値(前期比年率)	+3.0%	+3.2%
	22:30	◎	(米) 7-9月期個人消費・改定値(前期比年率)	+2.4%	+2.5%
	22:30		(米) 7-9月期コアPCEデフレーター・改定値(前期比年率)	+1.3%	+1.3%
	22:30		(米) ダドリーNY連銀総裁、講演	—	—
	23:00	○	(英) カーニーBOE総裁、講演	—	—
	24:00		(米) 10月中古住宅販売保留件数指数(前月比)	±0.0%	+1.1%
	24:00	○	(米) イエレンFRB議長、議会証言	—	—
	24:30		(米) EIA週間原油在庫統計	—	—
	27:50		(米) ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁、講演	—	—
	28:00		(米) 米地区連銀経済報告(ページブック)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。